

令和 4 年 4 月 26 日

第 1 回白岡市議会議会報告会報告書

議会報告会実行委員長 大島 勉

1 はじめに

議会改革を進める中で初めてとなる議会報告会を、令和 4 年 4 月 23 日（土）に白岡市生涯学習センターこもれびの森多目的ホールで開催した。

この報告会は、議会活動の見える化を目的に市民等に対し、報告等を含めた意見交換等を行う場として「議会報告会」を開催したものです。

今回、初めての取組ということで、準備委員会を立ち上げ、黒須委員長のもと協議を重ね、コロナ禍に十分配慮し開催に向け準備を進めてきました。

その後、実行委員会に移行しリハーサルを経て、当日は 17 名の議員参加のもと、19 名の市民に参加いただき、最初に議長挨拶、続いて第 1 部で各常任委員会委員長による報告の後、参加者からの質疑を受け、第 2 部では市民を交え、グループディスカッションを行い、それぞれ発表をしていただき、閉会となりました。

なお、参加者からのご意見等を踏まえ、今後もより一層、市民に開かれた議会となるよう努めてまいります。

2 議会報告会の概要

- (1) 日時 令和 4 年 4 月 23 日（土）13：30～
- (2) 場所 白岡市生涯学習センターこもれびの森 多目的ホール
- (3) 内容

- ア 開会
- イ 議長挨拶
- ウ 第 1 部

令和 4 年第 1 回議会定例会における 3 常任委員会による予算審議概要報告
報告者

総務常任委員会	黒須大一郎 委員長
文教厚生常任委員会	斎藤信治 委員長
産業建設常任委員会	加藤一生 委員長

質疑応答

質疑 1

議会の議員さんと直接お話する機会というのはなかなかありません。地元にいればいいですが、今回のようにこうして全体の方にお話しを聞く機会というのはないので、とて

も良い取組だと思います。

質問ですが、予算の歳入について、財政調整基金の推移や市債の関係についてお話されました。自主財源が市税を主としてやっている、その他、国・借金でやるのだろうが、市民税が、今後、どのように推移するのか、過去からどのように推移したのか、そのへんのデータが欲しかったと思います。

正直、白岡市が今後自立してやっていく中の財源で一番大変なのは、自主財源であると思います。人口が増えれば市民税も増えるだろうが、それ以外にも固定資産税、固定資産がどのように評価されるかによっても変わってきます。市民税についての情報があればお聞かせ願いたい。

それと、歳出については、建設費・政策費といったものが、主にどんなものが予算化されているのか、その辺りもお聞かせ願いたいと思います。

回答 1（黒須総務常任委員長）

総務常任委員会の所管の予算、財政についてですが、私が議員となった時から提案している財源の確保というのは大切なことで、私がモットーとしていることは、政治というのは、地域の不動産価値を上げることが大切であり、そこがすべてにつながってくるのではないかと。様々な事業を行うにしても、市税といった固定資産税など、税金を元にですね、国や県もそうですけど、全てはそこから始まる。そこで、一番肝心なものは何かというと、お話しにもあった固定資産税。付加価値の高いところから、それなりに税金をいただくことができます。この辺についてはですね、資料としては、用意できなかったのですが、白岡市として、固定資産税は、国とある意味同じで、なかなか上がってきません。先程も、産業建設常任委員会の委員長も申しました、市街化調整区域と市街化区域には大きな税金の違いがあります。これをどのように考えていくか、大変重要な問題で、これから、折を見て、議会報告会なり、私どもの議会で、私自身もそうですが、同僚議員も様々な場面でお話しすることがあるとは思いますが、今後の検討資料としてご用意させていただき、報告させていただきたいと思います。

質疑者が気にされている財源確保の中で、固定資産税、不動産価格をどうやって維持するか、もう上げるというよりも白岡市の場合は維持していくかということを踏まえて、やっていかなくてもいけないかなと思っております。

また、建設関係の土木費ですが、私が議員になったのは10年ちょっと前なのですが、そこから比べると半分くらいになっています。私は常々、これは私自身の考えであり、議会全体の考えではないかもしれませんが、やはり、生活の中で、道路が大切であると思っています。全ての道路が、しっかりとした福祉に堪えられる、子供たちが安全に、また、お年寄りが安全に使える、そういう、維持も含めて、白岡市はやっていかなくてもいけないのではないかと。地域においては、20年も30年も全然道路の状況が変わっていないところも白岡市の中ではまだあります。その辺がしっかりしていけないと、この先どのような社会インフラが整備され、また、新しい自動運転という話が出た時に、砂利道だったり、歩道がなかったり、道幅が狭かったり、なかなかその運行も大変かもしれません。そ

いうことも考えていかななくてはならないと常々思っていますが、義務費というものが色々増えてきてしまいまして、なかなかそこにお金が回せない状況というのがあります。ですが、それを打破するのも、不動産価値を上げて、しっかり維持して、白岡市の中で、その辺の考え方を、これは別に農業でも、その他の産業、第一次産業・第二次産業とか、色んな言い方がありますが、どの産業が頑張っても上がることであり、そういう人々の行いが不動産価値を上げるわけで、農業をやっていたのではダメだとか、こういうのではダメだとか、そういうのではなくて、あらゆる産業を駆使して不動産価値を上げるという考え方なので、お間違えないようにしていただきたいところです。お話ししたいところはそこなのですが、私の私見もありましたので、議会としてはなかなか表現が難しい。総務常任委員会の場合は広くやっているもので、なかなか難しいところで、資料のほうは折を見て作らせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

質疑 2

固定資産税については、市街化調整区域と市街化区域で差がついています。しかも、市街化区域の中で、市になったことで評価額が変わってきました。従来農地のところが、宅地並み課税になってくることによって、土地を手放すみたいなのが増えてくるだろうと、それによって、また、固定資産税も増えてくるだろうと予想しています。ただ、調整区域については従来どおり土地を利用するには難しい区域なので、それによって、それぞれの家の所得状況も変わってきています。格差が出ているのではないかと。市街化調整区域と市街化区域でかなり大きく差が出ているのではないかという気がしています。ですから、そこをどのように、いかに均等化するようにするか、市としてはどう考えているか、議員さんとしてはどう考えているか、その辺をお聞かせいただきたいと思います。

回答 2（黒須総務常任委員長）

先程の文教厚生常任委員長の話もありました、貧困、子供たちが抱えている、その辺を含めて、白岡市だけでなく、日本全体でこのようなことが起きていると、私も認識しております。今後は、このようなことも注視して、きめ細かく見ていながら、皆さんにお伝えして、皆さんと一緒に、どのような在り方がいいのかということを、議会でも問題意識をもってやっていきたいと思っています。うまく説明というか、お答えができませんが、今の課題だと、今後の課題だと思っております。十分認識しておりますので、この辺で質問のほうは勘弁していただければと思います。

質疑 3

今回初めての開催ということで、質問というより要望です。3月の議会を含めて、予算関係のお話をさせていただきました、私たちは、予算審議の結果を説明いただきましたが、私個人としては、議員の皆さんは議員活動していたり、情報収集活動をしているわけですが、その中で、委員会も含めて、結果だけではなくて、議員活動の中で、執行部が考えたことを、こう調整したり、議論をしたりして、結果がこのようになったというような、

議員さんの活動のプロセスをお聞きしたいと思って今回参加しました。議員さんの活動により、このような結果になったというような、途中経過もよく教えてもらいたいと思っています。

そういうことが、市議会の皆様の存在価値といえますか、意義といえますか。そういったところを、私たちも知りたいので、結果だけを報告するのではなく、プロセス、委員会の中でこういう議論があったとか、議員活動等により、どう執行部に修正させたとか、そういう話を是非聞かせて欲しいと思います。という要望です。よろしくお願いします。

回答3（大島実行委員長）

ご意見ありがとうございます。今回の報告会はこのような形になりましたが、次回の報告会については、今回いただいた意見やアンケート等を鑑みまして、議会の方で話し合いまして、また開催させていただきたいと考えております。

エ 第2部（司会：菱沼あゆ美）

1. 全体アイスブレイク 3択白岡クイズ3問
2. グループディスカッション テーマ「白岡市の将来～市に求めるもの～」

発表 ホワイトボードにまとめて発表。移動しながら聞いた。

主な発表内容

A班・中央公民館の建て替え

- ・中央病院移転の道路整備の事前通知
- ・脱炭素系企業を誘致し、環境都市白岡を目指す
- ・スケートボードに特化したスポーツ施設の設置
- ・企業進出で環境悪化を不安に思う住民への説明不足

B班・特色ある学校(一人ひとりの能力を生かせる教育)

- ・地域をつなぐ交通網が必要
- ・中央病院への送迎バスがあれば
- ・白岡の自然、人々のつながり

D班・市民と市職員の意識を改革、世代をまたぐ他団体との交流を

E班・防災(避難場所が少ない:空き地の利用、予算をかけず出来ること、建築資材の再利用)

- ・道路(場当たりの整備:優先順位をつけ整備する、危ない道路 MAP 新しい住宅増に対応が必要)
- ・子育て環境(障がい児保育&病児保育がない:民間事業者の活用)

オ 閉会

(4) 参加者 市民19名、議員17名、事務局4名

3 アンケート結果（アンケート回答者14名）

問1 年齢

40代1名、50代5名、60代4名、70代1名、80代以降3名

問2 参加のきっかけ

広報1名、HP1名、ポスター0、議員や知人の紹介9名、その他2名（議会傍聴時等）

問3 報告会について

(1) 開催時期

良い14名（意見として、議会終了時期や年2回以上の開催）

(2) 時間帯

良い14名

(3) 開催場所

良い14名

(4) 第1部の内容

良い9名、悪い1名、どちらとも言えない2名、回答なし2名

- ・資料等準備していただきありがとうございました。
- ・議員が集って市民に聞かせることがなかったのでいい機会と思う。
- ・日々の議員活動、委員会の議論内容等、プロセスを説明してほしい。
- ・報告内容が議会報告会なのだから議会の内容を説明してほしい。行政の内容を話しているように思う。
- ・市民にとっては分かりやすい内容であったと思うが、傍聴など慣れている市民については少し物足りなかったのでは。
- ・資料の工夫が欲しい。

(5) 第2部の内容

良い6名、悪い2名、どちらとも言えない1名、回答なし5名

- ・時間が足りない。
- ・話をもっと交流してほしい。
- ・色々な意見が出て参考になった。
- ・もっとPRして市民を集める必要がある。

(6) どのような内容を希望するか

- ・話し合える時間が足りないくらいでした。30分は短かったかもしれません。
- ・1つのテーマについて掘り下げるのも良いと思います。
- ・もっとテーマをしばってもらいたい。
- ・議員とのコミュニケーション主体に。
- ・提案事項等に対しての進捗状況。
- ・議会の経過、どういう議論されたのか、要請があったが、そのようにしてほしい。
- ・議会で問題になった点を取り上げてもらいたい。

- ・ 議会が執行部とどのような調整をしているのかといったこともおりませてください。

問 4 議会報告会の評価について

評価する 10 名、どちらともいえない 3 名、回答なし 1 名

問 5 感想やご意見等

- ・ 色々な方の意見を聞けてよかったです。
- ・ 可能であれば 10 代～80 代いろんな方の参加があればいいと思う。
- ・ 市民にとって議会を身近にするよい機会だと思います。
- ・ 文教厚生常任委員会のようにプロジェクターを利用して説明した方がわかりやすかった。
- ・ 手話通訳もあり、初めてとしてはよかったと思います。
- ・ 初めての試みお疲れさまでした。

議会報告会担当割表（18 名）

担 当	氏 名	備 考
司会	大島 勉	
第 2 部司会	菱沼あゆ美	
資料作成	<u>野々口眞由美</u> 、加藤一生	
受付	<u>渡辺聡一郎</u> 、石原富子、遠藤誠、細井公、 関口昌男、石渡征浩、野々口眞由美	
誘導	<u>山崎巨裕</u> 、江原浩之、中川幸廣、加藤一生	
設営	<u>石渡征浩</u> 、中山廣子、松本栄一、斎藤信治、 石原富子、野々口眞由美	
申込問合せ等担当兼 パワーポイント担当	<u>黒須大一郎</u> 、 <u>渡辺聡一郎</u> 、 <u>山崎巨裕</u>	
記録	<u>斎藤信治</u> 、中村匡志、黒須大一郎	

※敬称略、下線は各担当リーダー